

# 【工芸専攻】カリキュラムマップ

建学の精神			「芸術による女性の自立」「女性の社会的地位の向上」「専門の技術家・美術教師の養成」					
芸術学部の教育目標			芸術との感動的出会いを積み重ね、創造の喜びを培い、社会の流れを先取りする芸術的感性と、広い視野、柔軟な思考力、確かな技術を持ち、時代を超えた美を追求する、個性豊かな人材や専門家の育成を教育目標とする。					
デザイン・工芸学科の教育目標			デザイン・工芸学科は、人と人とのコミュニケーション・人とモノの関わり・人と環境のあるべき姿の考察、及び独創的な創作活動の実践を通して、幅広い視野・技術・感性を養い、柔軟な思考に基づき時代に即応し活躍できる人材の育成を教育目標とする。					
工芸専攻の教育目標			工芸専攻では、伝統工芸から現代アートまで、時代に即した創作への発想力と表現力を身につけ、専門的な知識や高い技術力を備え、幅広く新しい視点で工芸を捉えることができる人材の育成を教育目標とする。					
工芸専攻カリキュラム			芸術学部のディプロマポリシー					
年次	科目区分		授業科目名	芸術をはじめ、広く、人文、社会、自然科学に関する知識を習得することができたか。 「知識・理解」	課題やテーマに対して主体的、計画的に取り組む姿勢、生涯を通じて学び、創作や研究に取り組む素養を身に付けたか。 「関心・意欲・態度」	課題やテーマに対して、的確な情報収集や分析、論理的思考ができたか。 「思考・判断」	芸術分野において必要とされる技術、表現力を身に付けることができたか。 「技能・表現」	自らの創作や考えを伝えるコミュニケーション・スキルやプレゼンテーション能力を身に付けたか。 「技能・表現」
1	学部 共通	必修	基礎学習ゼミ	○	◎		◎	◎
		必修	デザイン・工芸選択実技A		◎	◎	◎	◎
	デザイン・工芸選択実技B			◎	◎	◎	◎	
	デザイン・工芸論A		◎		○	○		
	デザイン・工芸論B		◎		○	○		
	選択	デザイン図法	○	◎	◎	◎	◎	
	学科 共通	【1～3年次】 選択	コンピュータプレゼン演習A		◎	◎	◎	◎
			コンピュータプレゼン演習B		◎	◎	◎	◎
			色彩計画演習	○	◎	◎	◎	◎
			素材演習A		◎	◎	◎	◎
			素材演習B		◎	◎	◎	◎
			素材演習C		◎	◎	◎	◎
			素材演習D		◎	◎	◎	◎
			素材演習E		◎	◎	◎	◎
			素材演習F ※2014年度以降入学生		◎	◎	◎	◎
			バリアフリー演習	◎		◎		◎
			ヴァジュアルデザイン概論 ※2014年度以降入学生は 2年次履修	◎		○	○	
			マーケティング論	◎		○	○	○
			人間工学論	◎		○	○	
			デザインと法	◎		○	○	
			展示計画論	◎		○	○	
			デザイン心理学	◎		○	○	
			デザインサーベイ論	◎		◎		◎
			インテリアデザイン論	◎	◎	○	○	
			環境論	◎	○	◎	○	◎
			日本服装史	◎		○	○	
			文様史	◎		○	○	
			伝統染織文化論	◎		○	○	
			テキスタイル表現論	◎		○	○	
			空間演出論	◎		○	○	
現代造形論			◎		○	○		
広告論 ※2014年度以降入学生			◎		○	○	○	
写真史 ※2014年度以降入学生	◎		○	○				

## 【工芸専攻】カリキュラムマップ

建学の精神			「芸術による女性の自立」「女性の社会的地位の向上」「専門の技術家・美術教師の養成」					
芸術学部の教育目標			芸術との感動的出会いを積み重ね、創造の喜びを培い、社会の流れを先取りする芸術的感性と、広い視野、柔軟な思考力、確かな技術を持ち、時代を超えた美を追求する、個性豊かな人材や専門家の育成を教育目標とする。					
デザイン・工芸学科の教育目標			デザイン・工芸学科は、人と人とのコミュニケーション・人とモノの関わり・人と環境のあるべき姿の考察、及び独創的な創作活動の実践を通して、幅広い視野・技術・感性を養い、柔軟な思考に基づき時代に即応し活躍できる人材の育成を教育目標とする。					
工芸専攻の教育目標			工芸専攻では、伝統工芸から現代アートまで、時代に即した創作への発想力と表現力を身につけ、専門的な知識や高い技術力を備え、幅広く新しい視点で工芸を捉えることができる人材の育成を教育目標とする。					
工芸専攻カリキュラム			芸術学部のディプロマポリシー					
年次	科目区分		授業科目名	芸術をはじめ、広く、人文、社会、自然科学に関する知識を習得することができたか。「知識・理解」	課題やテーマに対して主体的、計画的に取り組む姿勢、生涯を通じて学び、創作や研究に取り組む素養を身に付けたか。「関心・意欲・態度」	課題やテーマに対して、的確な情報収集や分析、論理的思考ができたか。「思考・判断」	芸術分野において必要とされる技術、表現力を身に付けることができたか。「技能・表現」	自らの創作や考えを伝えるコミュニケーション・スキルやプレゼンテーション能力を身に付けたか。「技能・表現」
1	学科共通	【1～4年次】 選択	造形演習A		◎	◎	◎	◎
			造形演習B		◎	◎	◎	◎
			造形演習C		◎	◎	◎	◎
			造形演習D		◎	◎	◎	◎
	専攻・領域専門	必修	工芸基礎(染)		◎	○	◎	◎
			工芸基礎(織)		◎	○	◎	◎
			工芸基礎(刺繍)		◎	○	◎	◎
			工芸基礎(陶)		◎	○	◎	◎
			工芸基礎(ガラス)		◎	○	◎	◎
			CG演習		◎		◎	◎
	2	学科共通	選択必修	工芸史A(染織)	◎		○	○
工芸史B(陶ガラス)				◎		○	○	
選択			エコジカルプランニング演習	◎			○	◎
			ライティング演習	◎	◎	◎	◎	◎
			印刷概論	◎		○	○	
			プロダクトデザイン概論	◎		○	○	
			環境デザイン概論	◎		○	○	
【2～3年次】 選択			映像表現演習A		◎	◎	◎	◎
			映像表現演習B		◎	◎	◎	◎
			写真演習		◎	◎	◎	◎
		英語プレゼンテーション		◎	◎	◎	◎	
【2～4年次】 選択		建築材料学	◎		◎	○	○	
		建築生産 I	◎		◎	○		
		建築法規	◎		◎	○		
専攻・領域専門		テキスタイルコース 必修	染 I		◎	○	◎	◎
			織 I		◎	○	◎	◎
	刺繍 I			◎	○	◎	◎	
	材料学A(繊維)		◎		○	○		
	陶・ガラスコース 必修	陶 I		◎	○	◎	◎	
		ガラス I		◎	○	◎	◎	
		材料学B(陶ガラス)	◎		○	○		

## 【工芸専攻】カリキュラムマップ

建学の精神			「芸術による女性の自立」「女性の社会的地位の向上」「専門の技術家・美術教師の養成」						
芸術学部の教育目標			芸術との感動的出会いを積み重ね、創造の喜びを培い、社会の流れを先取りする芸術的感性と、広い視野、柔軟な思考力、確かな技術を持ち、時代を超えた美を追求する、個性豊かな人材や専門家の育成を教育目標とする。						
デザイン・工芸学科の教育目標			デザイン・工芸学科は、人と人とのコミュニケーション・人とモノの関わり・人と環境のあるべき姿の考察、及び独創的な創作活動の実践を通して、幅広い視野・技術・感性を養い、柔軟な思考に基づき時代に即応し活躍できる人材の育成を教育目標とする。						
工芸専攻の教育目標			工芸専攻では、伝統工芸から現代アートまで、時代に即した創作への発想力と表現力を身につけ、専門的な知識や高い技術力を備え、幅広く新しい視点で工芸を捉えることができる人材の育成を教育目標とする。						
工芸専攻カリキュラム			芸術学部のディプロマポリシー						
年次	科目区分	授業科目名	芸術をはじめ、広く、人文、社会、自然科学に関する知識を習得することができたか。 「知識・理解」	課題やテーマに対して主体的、計画的に取り組む姿勢、生涯を通じて学び、創作や研究に取り組む素養を身に付けたか。 「関心・意欲・態度」	課題やテーマに対して、的確な情報収集や分析、論理的思考ができたか。 「思考・判断」	芸術分野において必要とされる技術、表現力を身に付けることができたか。 「技能・表現」	自らの創作や考えを伝えるコミュニケーション・スキルやプレゼンテーション能力を身に付けたか。 「技能・表現」		
3	専攻・領域専門	テキスタイルコース 選択必修	染ⅡA	◎	○	◎	◎		
			染ⅡB	◎	○	◎	◎		
			織ⅡA	◎	○	◎	◎		
			織ⅡB	◎	○	◎	◎		
			刺繍ⅡA	◎	○	◎	◎		
			刺繍ⅡB	◎	○	◎	◎		
		陶・ガラスコース 選択必修	陶ⅡA	◎	○	◎	◎		
			陶ⅡB	◎	○	◎	◎		
			ガラスⅡA	◎	○	◎	◎		
			ガラスⅡB	◎	○	◎	◎		
		必修	プレゼンテーション演習	◎	○	◎	◎		
		4	学科共通	選択	構造計画	◎	◎	○	
				建築設備	◎	◎	○		
建築生産Ⅱ	◎			◎	○				
専攻・領域専門	テキスタイルコース 選択必修		染Ⅲ		◎	○	◎	◎	
			織Ⅲ		◎	○	◎	◎	
			刺繍Ⅲ		◎	○	◎	◎	
	陶・ガラスコース 選択必修		陶Ⅲ		◎	○	◎	◎	
			ガラスⅢ		◎	○	◎	◎	
	必修		卒業制作		◎	◎	◎	◎	